

TOWANOQUON SECRET FILE

トワノクオン
シークレットファイル

UON

Director: Umanosuke Iida

Character Design & Animation Director: Toshihiro Kawamoto

Assistant Director: Takeshi Mori

クオンをもつと知るための チェックポイント6

クオン——。

能力者の少年少女を救うため、自らを獣と化して戦う。

流れる血、体を走る激痛。

だが彼は諦めない。

永遠の少年クオンの瞳にうつるのは希望か、それも宿命か…。

1 CHECK POINT 1

「優しさ」

暴走する感情に支配された少年少女が能力を発現させる。それは世界と馴染むことができなかつた孤独な魂の叫びだ。クオンは、奈落へ墜ちていこうとする孤独な魂を両手を広げて優しく受け止める。クオンは自分の能力におびえ、とまどうユーマに語った。「僕だって、君と一緒に不完全な人間さ。でも決してあきらめたりしないって思ってる!」「だから約束してほしい。力を間違ったことに使わないって」「ここが君の居場所さ」。クオンはこのように能力者を一人ずつ探して、アトラクターのメンバーとしてきた。アトラクターに参加した能力者たちは、テーマパーク「ファンタジアム・ガーデン」で互いに支え合い、能力のコントロールを学んでいく。孤独な少年少女を結びつけるのがクオンの優しさだ。



アトラクターの少年少女。左から、ティ、キリ、ユリ、ミウ、タカオ、リュウ、ユーマ

2 CHECK POINT 2 「運命」

柿の苗を植物園に植える神無月。それは、神無月の曾祖父が残した行李の中から見つかった種が芽吹いたものだ。そこに現れたクオン。大人と子供ほどに年齢の違う2人が、子供のころを懐かしく語り合う。しかもクオンは、神無月の曾祖父とも面識があつたらしい。クオンは少年の姿をしているが、見かけ通りの年齢ではない。誰も知らないクオンの過去を知るのは、はるか昔から生えている千年樹だけ。その時の重みは、クオンの背負った運命の重さでもある。



3 CHECK POINT 3 「声」

アニメのキャラクターに命を吹き込む演技。クオンを演じるのは「機動戦士ガンダム00」などで知られる神谷浩史だ。クオンの優しくナイーブな部分と、仲間を守るために戦いも辞さない激しさを見事に演じている。また、能力を発現させインサニア・クオンとなった時の咆吼も神谷によるもの。荒い息づかいから、インサニア・クオンの持つ生きしさが立ち上る。





4 CHECK POINT 4 「強さ」

インサニアとは「狂気」を意味するラテン語。クオンと幾度となく対峙してきたケースースのサイボーグ部隊が、この名前でクオンを呼んでいる。それほどまでにインサニアとなったクオンは強い。しなやかなナイフのように研ぎ澄まされた肉体を使って、サイボーグ部隊とわりあう。

戦いの中でクオンは傷つく。弾丸などがクオンを狙って飛び交い、クオンの肉体はそのたびごとに損なわれる。さらにその傷を自らの能力で癒そうとした時には、想像を絶する苦痛がクオンを襲う。

クオンの強さは「戦闘能力の高さ」とイコールではない。あらゆる痛みを受け、それに耐えること。それこそがクオンの持っている真の強さ。痛みを知るものだけが持ちうる強さ。それが能力者の少年少女を守る最大の武器である。

クオンの激しいアクションシーンで腕をふるうのはアクション監修の中村豊。肉体を駆使したアクションに定評のある中村を中心とする作画陣が、重さと痛みを感じさせる本格的な肉体アクションを描き出している。



痛みを知るからこそ「強さ」



インサニア・クオン

クオンが能力を発現させた状態。
強靭な身体を持ちサイボーグ部隊と戦う。





5 CHECK POINT 5 「哀しさ」

クオンの一番の魅力は、その優しい表情だ。やさしい笑顔でユーマを受け止め、キリの心を解き放つ。クオンが優しいのは、心の底に哀しさをたたえた海があるからだ。ただその哀しさの海の存在を知る人は少ない。そして哀しさをたたえている人ほど優しくなる。

還るべき故郷を失った孤独な獣。それがクオンだ。だからクオンは、似たような境遇の少年少女の居場所をつくるためにアトラクターを組織した。ファンタジアム・ガーデンは、能力者の少年少女にとってのネバーランドであり、クオンは子供をさらいにくるフック船長と戦うピーターパンだ。

クオンの哀しさをたたえた優しさを魅力的に描き出すのは、キャラクターデザインとアニメーションディレクターを務める川元利浩。川元利浩が飯田馬之介監督とコンビを組むのは『おいら宇宙の探鉱夫』『機動戦士ガンダム／第08MS小隊』に続いて3作目。さらに川元がオリジナルキャラクターをデザインするのは『天保異聞 妖奇士』以来5年ぶりとなる。



哀しさを知るからこそ「優しさ」





6 CHECK POINT 6 「戦い」

クオンは戦う。それは降りかかる火の粉を払う戦いだ。敵は世界の秩序を影から支えてきた秘密結社オールドー。そして、その実行組織であるクーストースとその配下のサイボーグ部隊。能力者をベスティア（ラテン語で獣）と呼び、ベスティアを世界から排除する目論む非情の組織だ。だからクオンはみんなの居場所を守るために戦う。それは「戦い」というより、異端と呼ばれる側が、狩る側に対して行う「抵抗=レジスタンス」と呼んだほうがふさわしい行為だ。だが、ベスティアを狩るサイボーグ部隊もまた異端の存在だ。脳と神経節をのぞく全身をサイボーグ化した彼らは、五感のすべてをデジタル信号で捕うことが可能。つまり味覚の快楽も、読書の楽しさも、すべてヴァーチャルな信号で置き換える可能、肉体固有の感覚を奪われた存在なのだ。そのような存在を果たして人間と呼べるのか。

「異端」が“異端”を狩る。その出口のない構図こそが『トワノクオン』で描かれている戦いの正体なのだ。この構図がどのように変化していくかも『トワノクオン』の見どころの一つだ。



サイボーグ部隊メンバー。左より、レイ、海藤、瞬、ひづる、ハリー。



サイボーグ用ハードスースを着た瞬

第2章以降を知るための 4つのキーワード

1、新たな能力者

第2章以降もさまざまな能力者が登場する。その共通点は現実を生きにくいと感じる、複雑な境遇に育ったこと。恵まれない環境で育った彼らは、どんな能力を開花させるのか。

ヒントとなるのは彼らの願い。現実ではかなわない願いの成就を強く願う気持ちこそ、能力者の能力と深いところで結びついているのだ。そして新たな能力者の登場は、クオンたちを巻き込む戦いが激しさを増していく引き金ともなる。



2、クオンを取り囲む女性たち

クオンに一途な思いを寄せるユリ。ともにアトラクターを支えるテイ。そして、クオンによって心を開き始めたキリ。クオンを取り囲む3人の女性キャラクターのうち、クオンは誰に心を傾けるのか。能力者の仲間を救うことには熱心でも、自分のことはいつも後回しのクオン。どうも恋愛には疎うな雰囲気もある。今後の展開でクオンの恋愛観や好みの女性が明らかになるのかどうか、3人でなくとも気になるところだ。

3、注目キャラクター

今後の展開の鍵を握ると思われる一人が、神無月。アトラクターの中でも一人だけ年長者で、能力も持っていない。クオンとは古くからの知り合いのようだ。神無月が何者かがわかる時にクオンの過去も明らかになるのではないだろうか。

もう一人は、クーストースの指揮官・上代。秩序を乱すものこそ悪と決めつけベスティアを狩り続ける上代だが、まだ前線にでてきてはいない。本編で彼が戦う時はくるのかどうか。今後のなりゆきに注目したいキャラクターだ。



ヒゲに覆われたやさしい表情の神無月



鋭い表情を見せるクーストースの上代

4、イプシロン／風見瞬

イプシロンとは風見瞬のサイボーグ部隊での名前だ。ギリシア文字の5番目にあたり、サイボーグ部隊に5番目に入ったルーキーであることから、このように呼ばれるようになった。名前ではなく記号で呼ばれるということは、瞬が持つ人間的な側面を切り捨てて、クーストースの優秀な部隊員として生きろ、ということでもある。

だが、いくら切り捨てても、サイボーグになってしまって、人間的な記憶を捨て去ることはできない。イプシロンがイプシロンというお仕任せの名前を捨て、本名の風見瞬へと立ち戻るときこそ『トワノクオン』の一つのクライマックスとなるのではないか。そう、風見瞬／イプシロンは、本作のもう一人の主人公なのである。



美しく人を酔わせる花。

だが花は美しいばかりではない。
連続殺人事件を追って、
能力者を捜していたクオンだが、
サイボーグ部隊のイプシロンもまた
事件の真相へと迫っていた。
第2章『混沌の蘭舞』。

7月16日よりいよいよ公開……



トワノクオン
TOWANOQUON

【第2章】
「混沌の蘭舞」

執筆：藤津亮太

デザイン・レイアウト：鎌田 誠、石垣李枝子 (Galore Production)

監修：ボンズ

© BONES / トワノクオン製作委員会

NOT FOR SALE

トワノクオン 劇場オリジナル商品のご案内

※商品の仕様・デザインは変更となる ©BONES/トワノクオン製作委員会 場合がございます。



①クリアファイルセット
A4サイズ2枚組

700円(税込)

②ストラップ

PVCストラップにクオンイメージのチャーム付き チャーム=亜鉛合金 PVC部分+チャーム全長：約8cm

1,000円(税込)



③TシャツSサイズ ④TシャツLサイズ

S：身幅49cm L：身幅55cm 縞100%
黒地にインサニア・クオンをプリント 各3,000円(税込)



⑤図書カード

台紙サイズ：10×13cm
500円分 1,200円(非課税)



⑥設定資料集

本文IC印刷
64ページA4サイズ
1,500円(税込)

商品のお申し込み方法

インターネットでご注文下さい。
代金は後払いです。

※同一のご注文で、すべての商品をお申し込みになります。

※ご注文内容をお手元にお控え下さい。

こちらへアクセス！

<http://www.quon-shop.com/>

携帯からも
ご購入いただけます
対応機種をお持ちの方は
こちらのコードをご利用
ください。



- 代金のお支払いは、商品に同梱されている振込用紙でお近くの郵便局またはコンビニから2週間以内にお振込み下さい。なお送料を含めて合計金額3,000円以上の申し込みの場合、商品を届けた配達員へお支払いいただく代引き払いとなります。
- 価格は全て消費税率込みの金額です。
- 商品のお届けは、受付後およそ2~3週間前後かかります。在庫状況により多少遅れる場合もございますので予めご了承下さい。
- 配送業者指定、時間指定、営業所留め等の発送は致しかねますので、予めご了承下さい。

- 代金は、商品代金+荷物運送料(一律500円)=合計金額となります。
- 商品が届いてから2週間以内でしたら返品できます。その場合の送料は、お客様のご負担とさせていただきますので、予めご了承下さい。
- お申し込み受け付け日は、2011年12月22日(木)です。
- 商品は数に限りがございます。品切れの際は、何卒ご了承下さい。
- インターネット以外でのお申し込み(電話、ハガキ、現金書留、切手、為替等)はご遠慮下さい。

お問い合わせ先 株式会社「トワノクオン」通販係
TEL03-5995-7204 ⑧月～金(祝祭日を除く)朝10:00～夕方5:00まで